

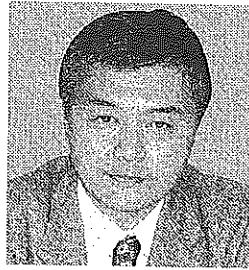
2003年(平成15年)12月26日(金曜日)

## サービス価格

高齢者・障害者向けのパリアフリーツアーが多彩になっている。エス・ピー・アイ(東京・渋谷)は比較的重い障害を持った顧客を対象にした介護付き旅行商品を扱う。篠塚恭一社長によれば。

「トラブルヘルパーといふ独自の登録制度を設け、介護が必要な高齢者らの旅行に付き添っている。介護の資格を持つ旅行の知識もある人材で全国に三百人程度いる。車いすを利用できるなどバリアフリーに配慮したホテルやレンタカーなどを扱う。」

### 介護ヘルパー付き旅行



エス・ピー・アイ社長 篠塚 恭一氏

どを手配して旅程を組んでいる。一家の温泉旅行に介護者を付けるケースや、介護者と高齢者一人の海外旅行など形態は様々だ。他社の主催旅行に参加し、トラブルヘルパーだけを手配することもある。

——料金はどうしても高めになるのは、通常の旅行費にトラブルヘルパーの旅行費、日当金、食事代なども含めれば

予算是最低でも三十万円、ハワイなど海外一周間では最低百万円程度かかる。公的介護保険の対象外で、確実に旅行ができる

## 能力別の登録制度も

「高齢者が旅行に行きたがっても、往々にして周囲が心配してやめさせてしまう。高齢者の健康状態や要望を的確に把握し、個別のケースにぴったり合ったホテルや交通機関を選ぶのも難しい点だ」

——トラブルヘルパーの

などが必要。介護者一人に高齢者一人の二泊三日の国内温泉旅行の場合、パリアフリー対応の宿泊施設が一つとも旅行にどうしても行きたいという高齢者は多くある場合もあれば、旅行、介護とともに専門的な知識が必要な場合もある。どんなケ

ースでも対処できるマルチなヘルパーは一握りだ。今後は能力別の登録制度を整備例えば『国内一級』『海外二級』といった形にして、顧客のニーズに的確に対応できる体制を築いていく」

「登録数も現在の三倍以上の人人が目標だ。各地で登録者を確保し、全国どこへ行っても現地のトラブルヘルパーが対応できる体制にしたい。温泉地のホテルなどで養成研修を行っていくが、今後はインターネットなども活用し地方在住の

能力も様々だ。  
「トラブルヘルパーに求

（聞き手は柳澤昭伸）

